

白石区幼保小連携推進協議会だより

令和3年7月19日
白石区幼保小連携推進協議会 代表者会

令和3年度第1回白石区幼保小連携推進協議会は、6月に、9グループに分かれてオンラインZoom会議を行いました。テーマは「コロナ禍における連携の在り方」です。各グループで話し合ったことを抜粋しましたので、今後の参考になれば幸いです。ワクチン接種が少しずつ進んできたとはいえ、まだまだコロナ禍は続きそうです。今回はこの状況でできる連携の第一歩！ 今後、二歩目三歩目と確実に進むよう期待しております。

オンライン会議 記録から オンライン会議参加施設 小学校 全20校、幼保施設37園 (14園不参加)

※小学校生活への不安

- ・幼児は、小学校の様子が分からないことにより、不安をたくさんもっている。「男の先生がいっぱいいる。怖くないかな。」「一人で行けるかな。」「給食を食べられるかな。」「トイレが怖そう。」・・・
不安を減らし期待感を高められるようにしたい。

子どもたちの交流

【動画や静止画（DVD）による交流】

- ・小学校の一日の流れをスライドや動画で紹介する。
- ・小学校の行事の様子、学習の様子、作品の紹介、校内探検、楽しそうな雰囲気・・・
- ・とりあえずは、簡単なメッセージだけでもありがたい。
- ・幼保の行事や生活の様子を撮影する。（その後感想の交流を行う）

今回、ほとんどのグループでこの話題が出ていました！

【オンラインでの交流】

- ・Zoomでつないで、園児と児童がお互いに質問したり答えたりする。
- ・Zoomで1年生の授業風景を（園児や保護者に）見てもらう。
- ・児童用クロームブックからLive映像を配信し、幼保施設で見る。

現在、幼保施設10園でオンライン環境が整っていません。

【手紙による交流（内容例）】

- ・1年生が楽しいと感じていること。 ・園児からの質問、小学生（先生）が回答。
- ・小学生、卒園児からのメッセージ。

【現況でもできそうなこと】

- ・運動会の練習風景をグラウンドの外から見学する。 ・幼児がグラウンドで遊ばせてもらう。
- ・戸外での交流。（一緒に苗植えを行う。その後成長の様子を写真やメッセージを添えてやりとりする。）
- ・グラウンドを借りてスキーやそり滑りを行う。

子ども同士の交流よりも職員間の交流の方が簡単そうですね。

職員間の連携

- ・気兼ねなく連絡を取り合えばよい。
- ・お便りの双方向でのやりとり（データで）を行う。特に子どもの育ちを伝えていく。
- ・メールを活用して、些細なことでも伝え合う。 ※白石区全幼保小でメールが使えることを確認しています。
- ・1日入学に幼保から職員が参加する。
- ・授業参観（参観日、研究日）、保育参観（日常、公開保育）へ積極的に参加する。
- ・お互いの教育について学ぶ機会をもち、幼保小の接続期がスムーズに行えるように、カリキュラムに生かしていく。
- ・小学校としては、どのようなステップを踏めば、新1年生にとってストレスのない小学校生活のスタートがきれるか知りたいところ。毎年スタートカリキュラムの見直しに、幼保の先生方に関わってもらう。